

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 6 年 1 月 25 日(2024.1.25)

【公開番号】特開 2023-91012(P2023-91012A)

【公開日】令和 5 年 6 月 29 日(2023.6.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-121

【出願番号】特願 2023-78978(P2023-78978)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 1 月 16 日(2024.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が実行されることにより所定事象が発生した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させる履歴記憶実行手段と、

前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して遊技の結果に対応する態様情報を導出する情報導出手段と、

前記情報導出手段により導出された前記態様情報を記憶する態様情報記憶手段と、

前記態様情報記憶手段に記憶された前記態様情報に対応する表示が情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う態様情報表示制御手段と、

所定の表示契機が発生したことに基づいて、前記態様情報に対応する表示が新たに開始される前に所定対応表示が前記情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う所定対応表示制御手段と、

30

遊技者の有利度に対応する設定値を設定する設定手段と、

前記設定手段による前記設定値の設定を行うことが可能な設定可能状況となるようにする状況発生手段と、

を備え、

前記態様情報記憶手段は、複数の前記態様情報のそれぞれを記憶することを可能とするように複数の特定記憶領域を備え、

前記態様情報表示制御手段は、所定表示順序に従って前記複数の特定記憶領域に記憶された複数の前記態様情報のそれぞれに対応する表示が前記情報表示手段にて順次実行されるようにするための制御を行うものであって、前記所定対応表示が前記情報表示手段にて行われた後において前記態様情報に対応する表示を前記情報表示手段に行わせる場合には前記所定表示順序における最初の順番に対応する前記態様情報に対応する表示から開始させるものであり、

40

前記情報導出手段は、所定の有利期間における前記履歴情報を利用して前記態様情報を導出するものであり、

前記設定可能状況となった場合、その時点における前記履歴情報を利用して導出されている前記態様情報を確認可能とするための制御を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、遊技が実行されることにより所定事象が発生した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させる履歴記憶実行手段と、

前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して遊技の結果に対応する態様情報を導出する情報導出手段と、

前記情報導出手段により導出された前記態様情報を記憶する態様情報記憶手段と、

10

前記態様情報記憶手段に記憶された前記態様情報に対応する表示が情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う態様情報表示制御手段と、

所定の表示契機が発生したことに基づいて、前記態様情報に対応する表示が新たに開始される前に所定対応表示が前記情報表示手段にて行われるようにするための制御を行う所定対応表示制御手段と、

遊技者の有利度に対応する設定値を設定する設定手段と、

前記設定手段による前記設定値の設定を行うことが可能な設定可能状況となるようにする状況発生手段と、

を備え、

前記態様情報記憶手段は、複数の前記態様情報のそれぞれを記憶することを可能とするように複数の特定記憶領域を備え、

20

前記態様情報表示制御手段は、所定表示順序に従って前記複数の特定記憶領域に記憶された複数の前記態様情報のそれぞれに対応する表示が前記情報表示手段にて順次実行されるようにするための制御を行うものであって、前記所定対応表示が前記情報表示手段にて行われた後において前記態様情報に対応する表示を前記情報表示手段に行わせる場合には前記所定表示順序における最初の順番に対応する前記態様情報に対応する表示から開始させるものであり、

前記情報導出手段は、所定の有利期間における前記履歴情報を利用して前記態様情報を導出するものであり、

前記設定可能状況となった場合、その時点における前記履歴情報を利用して導出されている前記態様情報を確認可能とするための制御を実行可能であることを特徴とする。

30

40

50